# 仙台市泉区におけるスマートシティ事業の概要（仙台市泉区における先進取組協議会）

## ■都市課題

- 厳しい財政状況の中での効率的な都市経営
- 都市機能の集積及び高度化
- 公共交通による多様な都市機能へのアクセス性向上
- 豊かな緑との調和
- 防災に配慮された安心、安全な空間

## ■解決方策

- 効率的で効果的なモビリティ施策
- 住民主導によるタウンマネジメント組織を組成
- コミュニティ都市OSによる、デジタルマーケティングの仕組みを応用した住民共感型のタッチポイントで分野横断の先進的サービスを一元的に提供

## ■ＫＰＩ

SC全体の取り組みとしてコミュニティ都市OSとタウンマネジメント運用による、良質なコミュニティ形成・満足度を測るKPI「コミュニティ満足度」を検討。特にモビリティ政策としては、パークバスの顔認証システム・データ活用への登録許諾率とする

## ■実証実験の概要・目的

域内循環交通交通である”パークバス”に対し顔認証技術・コミュニティ都市OSを用いたDX技術を導入することで、①まち全体の価値向上②利用者の利便性向上③事業者の新たな価値創出を目指し、利便性の高いモビリティ環境で外出行動を促進し、コミュニティを活性化・都市機能を維持・改善」の実現に向けた知見を得る。

## ■実証実験の内容

・地域交通（コミュニティバス）において顔認証乗降サービスの実証を実施。また、同様の仕組みを地域コミュニティ施設にも設置し、「双方の取得データを”地域交通利用者ID”基軸で “移動と行動データ”として連携実現可能か」、また、「これらの利活用可能性」の調査を実施した。

【実証実験の概要】

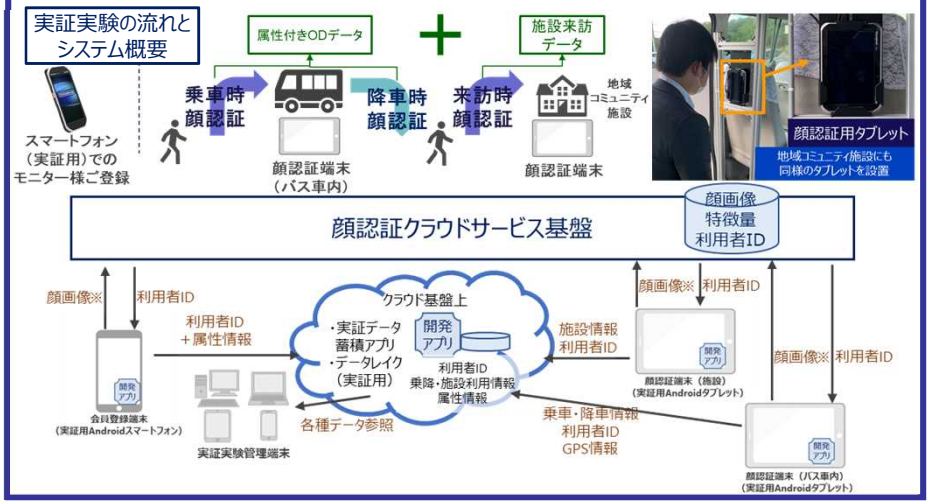
・現地実証実験期間：2021年10月1日～10月21日

・顔認証乗降実証参加モニター様：13名　簡易アンケートご協力モニター様：95名

・一般ご利用者様より、モニターを募集し、顔情報と属性情報を事前に登録。

・実証期間中、バスの顔認証乗降と、施設利用時の顔認証のご協力を依頼。

・期間終了に合わせ、実証参加モニターへのヒアリングと、一般利用者への簡易アンケートを実施。その後、実証期間中に取得したデータを基にサンプルケースを生成し、運行事業者・地域事業者のそれぞれに、運用効率化の可能性・データの利活用等の観点でヒアリングを実施。




## ■実証実験で得られた成果・知見

### 顔認証システムの社会受容性

**利便性**

・利用者ヒアリングでは約8割、モニターヒアリングは13人中12名が有効と回答

→**利便性は高いことが確認された。費用負担については別途検討が必要**

**抵抗感**

・顔認証に抵抗感を持つ人は半数いる

→**サービスによる利便性と取得情報を丁寧に説明、コミュニケーションしていく必要性**

**利用機会**

・モニターヒアリングでは13人中2名のみ「顔認証で利用機会が増える」と回答

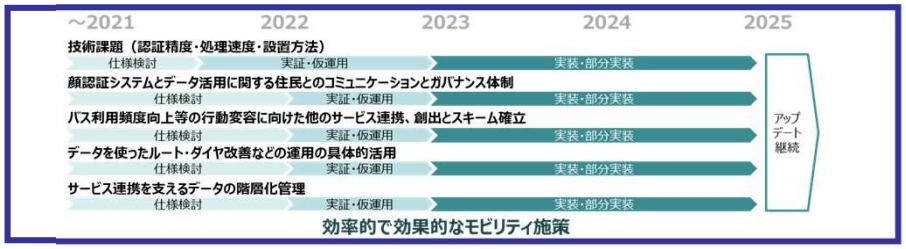
→**顔認証の利便性に加えたサービス連携の必要性が浮き彫りに**

### 顔認証システムによる取得データの活用可能性

**運行改善**

属性別での行動パターンの情報収集、分析によって、バス移動の目的を把握し、利用実績に合わせた**バスの運行計画およびルートの見直し等に活用が可能**

**他分野データ活用**

利用者からサービス連携の期待は高く、商業施設等事業者側も連携に前向きだが、双方データの扱いに関して不安があるため、**用途に応じたデータの適切な階層化と提供が必要**

## ■今後の予定